

被ばく低減対策好事例集

場所		分類		番号	29-04-02
原子炉建屋内	RB	TB	5		
タービン建屋内	TB			2	距離
R ZONE	R			3	遮へい
Y ZONE	Y			4	線源の除去
G ZONE	G			5	遠隔、リモット化
その他 ()	Z			6	汚染拡大防止
				7	その他

内容	作業場所を低線量率エリアへ変更			
作業部位	1号機タービン建屋 1階			
概略	干渉配管切断時、高線量率エリアである地下1階での作業を行わず、低線量率エリアである地上1階から行った。			
評価 (定性・定量)	効果	線量率(mSv/h)	対策前 7~22	対策後 0.5~4.0
		人工数(人日)	--	--

事例詳細

対策前 干渉配管を地下1階エリアから切断する際、床ドレンサンプ近傍(地下1階作業エリア)は高線量率エリアであった。

対策内容 比較的低線量率エリアである地上1階から切断することとし、約10mの遠隔操作を行った。

遠隔操作による低線量率エリアからの作業

**干渉配管の切断を行う治具(油圧カッター等)を準備
ヒータドレン配管等の影響が少ない1階面から作業を実施**

